



明けましておめでとうございます。

枕崎市内では学校応援団などのボランティアの方々が、コロナに負けずに子供たちと様々な地域学校協働活動を行っています。

「地域学校協働活動だより」は枕崎市のホームページにも掲載されていますので、QRコードやパソコンで検索してご覧ください。

## ～郷土教育で「駒水ヤンセ踊り」の学習～ 別府小学校

別府小学校では6年生の郷土教育として、10月から11月にかけて「駒水ヤンセ踊り」

を6回にわたって学習しました。「ヤンセ踊り」は、別府地区の駒水に古くから伝わる郷土芸能です。「駒水ヤンセ踊り保存会」の人たちが毎回学校に来て、子供たちに踊りを指導してくださいました。

最初は「ヤンセ踊り」独特の拍子に、なかなか踊りを揃えられなかった子供たちでしたが、練習の回数を重ねるたびにめきめき上手になりました。

11月19日は駒水の地元の人たちを前にして、20日は小学校の学習発表会で、衣装と面を着けて踊りの披露を行いました。観客を前にしてのヤンセ踊りは、踊りが揃った素晴らしい発表で、観覧の人たちの大きな拍手を受けていました。



## ～南浜館で小学生と「楽しい書道教室」～ 枕崎地区公民館

枕崎地区公民館の青少年講座として、小学生を対象にした書道教室を11月14日から3回シリーズで、南浜館の創作室で行いました。

この講座は、枕崎地区在住の中山香一郎さんの「子供たちに書の楽しさを知ってもらいたい」「自分が学んできた書道の力を地域のために生かしたい」という思いから実現したものです。

枕崎小学校の2年生から6年生まで、多い日で10人の子供たちが受講しましたが、中山さんの指導でめきめき上達して、最終日には自由書の作品づくりに取り組んで、10人全員が素敵な作品を書き上げていました。



学校応援団ボランティア 募集中！ 詳しくは 生涯学習課まで TEL72-0170

## ～「スペインの文化と言葉」で国際理解～ 別府中学校

スペインに23年在住経験のある上釜理恵子さんの講話が、12月15日に別府中学校でありました。

2年生の授業の中での講話でしたが、「スペインの文化と言葉」というテーマで、スペインにまつわるクイズを出したり、写真、ビデオの紹介などを交えて、約90分間生徒達と楽しくやり取りをしながら話をしてくださいました。



「世界でスペイン語を話す国は何か国？」というクイズでは、「正解は21か国で、スペインには世界中のスペイン語を話す国の人々がやって来る。色々な国の人が集まるので、それぞれの人が違うことが当たり前前の社会である。」などの話があり、生徒達は熱心に聞き入っていました。

## ～枕崎弁の方言劇「黒豚物語」を上演～ 立神中学校

立神中学校では11月6日に文化祭があり、1年生が全編枕崎弁のセリフの方言劇「黒豚物語」を上演しました。

セリフの枕崎弁のイントネーションが難しいということで、駅前観光案内所の長野幸造さんに方言指導を受けて、生徒達は昔ながらの枕崎弁に取り組みました。

舞台美術なども生徒たちが手作りした文化祭本番の劇では、枕崎弁のセリフに観客から大きな拍手が起きていました。

### ※枕崎の黒豚「鹿籠豚」とは※

明治の初め頃から、枕崎では養豚が盛んに行われていました。太平洋戦争での絶滅の危機を生き抜いた枕崎の黒豚は、戦後には東京に出荷されるようになり、その旨さと肉質の良さから、瞬く間に大評判になりました。

黒豚を運んだ南薩鉄道の貨車に「鹿籠駅」の車票が付いていたことから、自然に「鹿籠豚」と呼ばれるようになり、全国初のブランド豚となりました。



## ～ミシンを使ったトートバッグとエプロンの作成指導～ 桜山小学校

桜山小学校では12月15日と22日に、「たけのこ」と「家庭倫理の会」の方々が、家庭科の授業で5年生にミシンの使い方の指導を行いました。

5年生は10月に初めてのミシンの授業があり、雑巾を縫いましたが、今回は時間をかけて本格的なものを作ろうと、トートバッグとエプロンを作成しました。

2時間の授業が2回でしたが、それぞれ4人のボランティアの方々に教えてもらいながら、ミシンを使ってトートバッグとエプロンを上手に仕上げていました。

